

令和 6 年度事業報告 （五個荘地域包括支援センター）

1 令和 6 年度重点目標及び具体的な取組

重点目標	①五個荘地域の高齢者の相談窓口として、住民や関係機関との相談・連携対応を図り、個別ニーズの把握に努める。 ②地域活動に参加し、顔の見える関係を築き、地域ニーズの把握に努める。
具体的な取組	①相談や寄せられた情報は事業所内で共有し、相談時には必要な関係機関等と連携し、必要時には個別訪問し、早期対応を図る。 ②地域で行われている会議や教室、サロン等に参加し、地域住民や関係機関との関係構築を行い、相談しやすいセンターを目指す。

2 令和 6 年度事業報告

業務名	取組内容
①総合相談支援業務	・介護保険を新規申請された方に対して、サービスの利用に繋がったか等、その後の経過確認を実施した。 ・センターの職員が協力して一体的な対応ができるように、事案の状況報告とケース検討を毎日実施した。 ・色々な相談に対応できるように勉強会や研修会に参加し、センター内で伝達研修を行った。 ・80歳を対象とした実態把握調査（郵送68件・訪問14件）を実施した。 【相談件数】1,123件 【相談内容】介護・介護保険585件 介護予防98件 医療14件 認知症112件 権利擁護71件 その他243件
②権利擁護業務	・高齢者虐待ケースについて、五個荘地域包括支援センターへの通報は1件、東近江市地域包括支援センターへの通報は2件であった。 ・高齢者虐待事案ケース経過会議へ出席（令和6年4月～令和7年3月 12回）、五個荘地区での虐待ケース新規認定は3件（令和6年6月、令和7年2月） ・成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の利用を必要とされる方やその家族に対して制度の説明を行い、制度の利用へ繋いだ。 ・センター職員がほっとかへん地域づくりと権利擁護の研修会（令和7年3月）へ参加し、東近江市や他市町の取組事例について学んだ。 【虐待通報件数】3件（うち、虐待と認定されたもの2件） 【地域福祉権利擁護事業の利用へ繋いだ件数】 2件
③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・東近江市地域包括支援センターが実施するケアマネジメント実施事業所等連携会議に参加した。また、五個荘地区の居宅介護支援事業所を対象にケアマネ連携会議を4回開催し、五個荘地区の事業所同士の連携を図った。 ・地域の介護支援専門員から支援困難事例について、担当者会議等への参加や同行訪問を行った。医療機関と連携し退院後の生活がスムーズに遅れるよう、退院前カンファレンス等に参加した。 支援困難事例ケース会議等への参加10件 入院者へのカンファレンスへの参加3件 ケアマネジャーとの同行訪問 5件 ・独居、老老世帯等の実態把握とその後のサービス利用へ繋ぐために、医療機関や関係機関との連携に努めた。 ・地域密着型サービス事業所の運営推進会議へ参加し、事業所が提供するサービスに対して助言を行った。 【ケアマネジャーからの相談件数】92件

業務名	取組内容
④介護予防支援業務・介護予防ケアマネジメント業務	・ケアマネジメントの実施については、一般介護予防事業をはじめとする様々な社会資源を活用し、地域の中で生きがいや役割を持ち自立支援に繋がるように支援した。 ・要支援者や介護予防・生活支援サービス事業対象者の課題整理の中で本人・家族がどのような生活をしたいかという具体的な日常生活上の目標を明確にし、要介護状態となることの予防や、心身の状況、生活環境などを勘案して、自立した生活が送れるように多職種・関係機関と連携しながら支援した。 ・ケアプラン作成を居宅介護支援事業所へ委託する場合、ケアマネジメント等資料の内容確認を行うとともに、計画が適正に作成されているか等内容の妥当性について確認し、給付管理を行った。 【介護予防支援実施件数】 888件（センター531件 委託357件） 【介護予防ケアマネジメント実施件数】 231件（センター136件、委託95件）
⑤地域ケア会議推進事業	・東近江市地域包括支援センターが実施する地域ケア個別会議へ参加した。会議へ事例提供を行い、個別ケースの課題解決に向け助言を受けた。 ・地域ケア個別会議のあり方をテーマにした研修会に参加し、主任ケアマネジャーとしてのスキル向上に努めた。 ・来年度から自立支援に視点をおいた地域ケア個別会議を実施していくため、すでに実施している能登川地域包括支援センターの取組について情報収集を行った。
⑥医療介護連携推進事業	・東近江市地域包括支援センターが実施する医療との連携ワーキング会議へ参加し、居宅介護支援事業所のケアマネジャーと地域ケア個別会議やケアマネジメント連携会議の運営の他、医療との連携のあり方に関する協議を行った。 ・五個荘てんびん倶楽部に参加し、地域の医療介護従事者との連携に努めた。
⑦認知症総合支援事業	・センター職員が認知症キャラバン・メイトとして登録して交流会や研修会に参加した。 ・センター職員が認知症地域支援推進員研修に参加した。 ・認知症初期集中支援チーム員会議に参加し、事例を知ることにより、他のケース支援に活かすことができた。 ・五個荘地区で毎年行われている認知症行方不明者早期発見保護訓練に認知症の方役で参加した。訓練を通じて、地域の方に認知症への理解を深めてもらえるように努めた。 ・スマイル・オレンジ・五個荘という名称で、地域のサロン等に参加して、介護予防体操や認知症に関するクイズなどにより、認知症の啓発活動を行った。
⑧その他	・民生委員・児童委員定例会議にて、地域の高齢者の困りごとについて意見交換をした。 ・法人内の地域担当者とセンターの職員が地域の関係機関との連携づくりに取り組み、難病支援センター等新たに連携できた機関が増えた。